

会津ファンクラブ公式会報誌

会津ファン

AIZU FAN

vol.3

2014.4



巻頭特集

会津さくら物語り

みんな知ってた？
会津の「人・物・歴史」
ひとものれきし

会津DE体験
噂のマルマルやってみた。
手びねり体験篇

会津内半径300mの旅
会津まち歩記

会津原寸大図鑑

鶴ヶ城の瓦

AIZU
イイモノ

part 3



季節の和菓子(小菊・春告鳥・水芭蕉・さくら花)

会津ファン

AIZU FAN vol.3

発行/会津ファンクラブ事務局
(一般財団法人会津若松観光ビューロー内)
〒965-0873 会津若松市追手町5-10-2F
TEL.0242-23-8000 FAX.0242-23-9000
e-mail/aizufan@tsurugajo.com
2014年4月

会津さくら物語り

会津は桜の名木が多い地方として知られている。
ソメイヨシノはもちろん、
エドヒガンにオオヤマザクラやサトザクラなど、
数ある名木が優美に、そして華やかに春の会津を彩る。
自然豊かな大地を舞台に、歴史を見つめてきた
桜の名所をご紹介します。



1990年にさくらの名所百選の地に選ばれました。

明治三十年代に「春高樓の花の宴」：「荒城の月」を作詞した土井晩翠は、天守のない荒れた鶴ヶ城を訪れ、作詞のモチーフを得たといいます。当時も自生した桜等が彼を迎えたのかもしれませんが。（鶴ヶ城をモチーフとしたことは、昭和二十一年土井晩翠氏を招いた講演会で語られました。）

明治四十一年に歩兵第六十五聯隊が若松に誘致されたことを記念して植樹されたためでした。中心となったのは元会津藩士遠藤十次郎などです。以来、前述の方針に基づき歴史的遺跡と公園としての要素が合わされ整備は進められました。

鶴ヶ城と桜の軌跡

戊辰戦争後の鶴ヶ城は荒れるに任せる状態でした。会津若松市は松平家から鶴ヶ城跡を譲りうけると大正六年に整備計画を立てましたが、明治の後半にはすでに多くのソメイヨシノが植樹されていました。

宮川の両岸に植えられた約500本のソメイヨシノが川の両岸約1kmを淡紅色に彩ります。一斉に咲き誇る様は、まさにサクラのアーケード。北方に残雪の磐梯山を望む春の絶景ポイントの一つとして、会津有数のサクラの名所として知られている。例年見頃は4月中旬～4月下旬頃。

アクセスDATA

【住所】福島県大沼郡会津美里町宮川

【電車】JR会津高田駅から徒歩約20分【車】磐越道新鶴スマートICから約15分

【駐車場】100台 無料

【お問い合わせ先】会津美里町観光協会 TEL.0242-56-4882

表紙の場所



会津美里町の宮川千本桜



撮影者

国府 映プロフィール

1943年福島県生まれ。1976年会津若松市に（有）フォトハウス映設立。1990年東京・銀座コダックサロン「四季光彩・会津」、2001年富士フォトサロンにて「ふるさと会津四季彩」個展開催。（社）日本広告写真家協会（APA）特別会友



Contents

巻頭特集

会津さくら物語り

会津地方の桜を一挙紹介

みんな知ってた？ 会津の「人・物・歴史」

会津 DE 体験!! 噂の「マルマル」やってみた

手びねり体験／会津慶山焼

会津原寸大図鑑 鶴ヶ城の瓦

2014 April Aizu Fan

会津まち歩記 馬場町・鶴ヶ城稲荷神社付近

会津イベント情報

リレーで繋ぐ「会津の人」／フロム会津ファン

AIZUイイモノ 吉田菓子舗

季節の和菓子
(小菊・春告鳥・水芭蕉・さくら花)
各1個160円より
会津若松市馬場町1-22 ☎0242-22-0985





①石部桜

会津五桜

激動の昭和を駆け抜けた
廃線跡に誕生。

喜多方・桜のトンネル

蔵とラーメンのまち、喜多方。かつてこの地を走っていた旧国鉄の日中線。栃木県の今市から山形県の米沢まで計画された東北中央縦貫鉄道の一部として、喜多方から熱塩まで昭和13年に開業した。

本州では蒸気機関車による定期旅客列車の運転が最後となった線区でもあり、多くの鉄道ファンが詰めかけたが昭和59年に廃線となった。その廃線跡を遊歩道として整備。喜多方駅から徒歩15分の場所に約3キロにわたり、しだれ桜が植樹された。その数、なんと1000本以上。満開の時期には、さながら桜のトンネルを歩いている気分を味わえる。途中には旧国鉄日中線を走っていたSLが展示されており、絶好の撮影スポットとしておススメだ。

この日中線記念自転車歩行者道を会場に4月26日の土曜日に「2014蔵のまち喜多方桜ウォーク」が開催される。コースは2キロ・5キロ・10キロの3コース、春風を感じながら美しい桜並木を歩いてみてはいかがだろうか？

申し込み・お問い合わせ先
喜多方市教育委員会生涯学習課
スポーツ振興係
電話0241-2312116まで。



②杉の糸桜



③虎の尾桜



④大鹿桜



⑤薄墨桜

①会津若松市 石部桜 [いしべくら]

場所／会津若松市一箕町八幡石部 開花時期／4月下旬
会津若松市観光課／TEL:0242-39-1251
樹齢約650年の古木。中世会津の領主輩名氏の時代に重臣・石部治部大輔の屋敷の庭にあったことから、その名がついた。田んぼに囲まれて四方から眺められるので、満開時は壮観な姿を望みられる。

④猪苗代町 大鹿桜 [おおしかざくら]

場所／猪苗代町西峯磐椅神社(いわはしじんじや) 開花時期／5月上旬 猪苗代観光協会／TEL:0242-62-2048
別名「翁桜」とも称される菊咲きのサトザクラ。開花の時は白色だが、だんだん鹿の色に変わることからこの名が付けられた。村上天皇の天曆年中(947年～957年)勅使参拝した折に、京都より移植されたという老古木だが、今も5月上旬になると満開となり、美しい姿が楽しめる。

②会津坂下町 杉の糸桜 [すぎのいとざくら]

場所／会津坂下町船杉北杉大道乙1170 葉王寺境内 開花時期／4月下旬 会津坂下町観光物産協会／TEL:0242-83-2111
会津坂下町杉集落の葉王寺境内にある樹齢約200年のしだれ桜。幹の太さ約3.2メートル・樹の高さ6メートルで、やや白色の桜が地面に流れ落ちるように見える華やかな姿は必見。

⑤会津美里町 薄墨桜 [うすずみざくら]

場所／会津美里町宮林甲4377 伊佐須美神社 開花時期／4月下旬 伊佐須美神社／TEL:0242-54-5050(要予約)
伊佐須美神社の境内南にある御神木。開花と共に花びらの色が薄墨の入った白から赤味を帯びる。満開時には香りが素晴らしい「香りの薄墨桜」とも呼ばれている。毎年4月29日にはこの桜樹の霊をまつる花祝祭が行われ、多くの人で賑わう。

③会津美里町 虎の尾桜 [とらのおざくら]

場所／会津美里町雀林三番山下・法用寺 開花時期／4月下旬 会津美里町観光協会／TEL:0242-56-4882
三重の塔で知られた法用寺観音堂前にあるサトザクラ。平安時代の初期に会津に仏教を広めた徳一大師が植えたといわれている由緒ある古木で、藩政時代には藩主と姫君がよく観桜にいられていた。花は、葉がやや先に芽吹く八重咲で淡紅色、オシベが花びら化する珍花。



会津エリアさくらMAP

いにしえからこの地に
咲き続ける会津五桜。

会津地方の桜をご紹介するうえで忘れてはいけないのが「会津の五桜」と呼ばれる貴重な古木だ。大河ドラマ「八重の桜」のオープニングでお馴染みの「石部桜」や「伊佐須美神社の薄墨桜」、「法用寺の虎の尾桜」、「葉王寺の杉の糸桜」、「磐椅神社の大鹿桜」の五桜。ただし会津若松市を中心にした場合は、「養蚕国神社の峰張桜」、「飯盛山の太夫桜」を加えることもあるようだ。会津五桜は、慶長16年(1611年)から編纂されてきた「会津風土記」や文化6年(1809年)発刊の「新編会津風土記」にも記され、いにしえからこの地の人々に愛されてきた名木。

まだまだある!喜多方エリアの歴史を見つめてきた桜の名所 御殿場公園(ごてんばこうえん) 長床(ながとこ)

歴代会津藩主一家の行楽地。約200本のソメイヨシノが咲き乱れる。4月15日～30日まで「さくらまつり」が開催。夜はライトアップされ、幻想的な姿を見ることが出来る。■場所／喜多方市塩川町遠田字沼上(塩川駅から車で約3分)駐車場有

平安時代の寝殿造りの建物と大イチョウで有名な新宮熊野神社長床。この歴史ある社に咲く薄紅色のあざやかなしだれ桜は長床の古風さと溶け込み、その風情は優雅で趣がある。■場所／喜多方市慶徳町新宮熊野(喜多方駅から車で約15分)駐車場有

⑥喜多方市 日中線記念自転車歩行者道しだれ桜並木

場所／SL展示付近:喜多方市字諏訪地内
起点:喜多方市字太子堂地内 終点:喜多方市松山町村松字常磐町地内
喜多方観光協会／TEL:0241-24-5200
開花時期／4月下旬



巻頭
特集

会津さくら物語り



磐梯・猪苗代エリア

多彩な舞台で、桜を愛でよう。

会津地方は、会津盆地を中心として東は奥羽山脈、西は越後山脈、南は下野山地、そして北は飯豊山地に囲まれた山岳地帯。標高が比較的高く内陸部に位置するため、福島市や郡山市と比べ開花が遅いのが特徴だ。例年、4月中旬から5月中旬ごろまで見頃となる。

また、会津地方は面積も千葉県がほぼ入ってしまうほど広い。

会津盆地にあり史跡や観光スポットが集中する「会津若松・喜多方エリア」、名刹・福満虚空蔵菩薩圓蔵寺を始め神社仏閣などの史跡が多い「西会津エリア」、磐梯山や猪苗代湖など雄大な大自然を満喫できる「磐梯・猪苗代エリア」、そして日本の原風景のような里山の素朴で懐かしい風景に出会える「南会津エリア」がある。会津では、そんな多彩な桜をお楽しみいただけます。

例えば、松枝岐村の鎮守神社の一角、松枝岐歌舞伎の舞台を見守るように咲くヤマザクラ。毎年5月に公演される「春の松枝岐歌舞伎」の上演に合わせて、桜と舞台を写真に収めようと訪れるファンも多い。今年の春は、さまざまな顔を持つ会津に桜を愛でに出かけませんか？



⑦猪苗代町 観音寺川の桜並木

●場所／猪苗代町大字川桁地内 川桁地区にある観音寺川畔1kmにソメイヨシノの桜並木が約200本ほど並ぶ。満開見頃は毎年5月の大型連休ころ。
●開花時期／4月下旬～5月上旬 期間中は桜まつりも開催され夜桜のライトアップもあり。
●猪苗代観光協会／TEL:0242-62-2048



⑧磐梯町 史跡慧日寺跡の木ざし桜(種蒔き桜)

●場所／磐梯町大字磐梯字寺西38番地 ●開花時期／4月下旬 ●磐梯山慧日寺資料館／TEL:0242-73-3000
木ざし桜は慧日寺最盛期の衆徒頭の乗丹坊が挿した桜の枝が成長したものだとい伝えられているエドヒガンサクラの古木。樹齢推定800年。高さは約12m、幹周りは5mの太木で、昭和58年に県の緑の文化財に登録されました。



⑨北塩原村(裏磐梯) 桜峠

●場所／北塩原村大字大塩字桜峠 ●開花時期／5月上旬 ●裏磐梯観光協会／TEL:0241-32-2349
平成13年(2001年)に愛子様が誕生したのを祝いで、桜峠牧場跡地に植樹された2001本の大山桜。残雪の飯豊連邦と桜を同時に楽しめます。



⑩只見町 深沢温泉「季の里・湯ら里」の八重桜

●場所／只見町長浜上平50 ●開花時期／5月上旬 ●季の里・湯ら里／TEL:0241-84-2888
宿泊と日帰り温泉が利用できる深沢温泉に咲き誇る八重桜の並木。オープンした平成8年に植樹した10本ほどの八重桜が5月上旬に咲き誇ります。



⑫南会津町 南泉寺の桜

●場所／南会津町静川字西の沢口 ●開花時期／4月下旬～5月上旬 ●南会津町観光物産協会／TEL:0241-62-3000
南泉寺の楼門の奥には、しだれ桜があり、春になると楼門としだれ桜が素晴らしい風景を作り出してくれます。



⑭昭和村 築島の桜

●場所／昭和村大字下中津川字築島 ●開花時期／4月下旬～5月上旬 ●昭和村役場産業係／TEL:0241-57-2117
野尻川の流れと桜並木が見事にマッチング。昭和20年代頃に時の当主により植えられた。元々は桑畑だったが荒地になるのを防ぎ植えられたという。樹齢は60～70年。近くには「からむし織りの里」や「旧喰丸小学校」などがある。



⑯金山町 JR只見線 会津中川駅の桜

●場所／金山町大字中川字坂下 ●開花時期／4月下旬 ●金山町役場 産業課／TEL:0241-54-5327
車窓からの景色がきれいなことで有名なJR只見線。会津中川駅は無人駅。舎の横に立つ桜の大木が周辺の新緑に映えて、一層美しい景色になります。



⑰西会津町 上野尻発電所の桜

●場所／西会津町上野尻地区 ●開花時期／4月下旬 ●西会津町商工観光課／TEL:0241-45-2213
近くには磐越西線が走り、土日には新潟・会津若松間を走る「SLはんえつ物語号」という蒸気機関車が走るので、写真撮影のスポットとしてもおすすめです。



⑱三島町 大林ふるさとの山

●場所／三島町西方地区 ●開花時期／4月下旬～5月GW ●三島町観光協会TEL:0241-48-5000
4月下旬の雪解けと同時にカタクリが開花し、5月はじめにはオオヤマザクラやギョウコウ、ソメイヨシノを見ることができる。



⑪松枝岐村 歌舞伎の舞台の桜

●場所／檜枝岐村字居平 ●開花時期／5月上旬 ●尾瀬松枝岐温泉観光案内所／TEL:0241-75-2432
松枝岐村で桜が咲くのは、例年GWの後半頃。まれに寒い年だと、5月12日の歌舞伎と重なり、夜桜の下での歌舞伎見学になる。※駐車場がないため、檜枝岐役場前(尾瀬松枝岐温泉観光案内所前)が駐車場となります。徒歩5分の場所には六地藏の桜があり、歌舞伎の舞台の桜の途中で見ることができます。



⑬下郷町 湯野上温泉駅の桜

●場所／下郷町大字湯野上 ●開花時期／4月中旬頃 ●下郷町観光案内所／TEL:0241-68-2920
日本では珍しい茅葺屋根の駅舎「湯野上温泉駅」。ソメイヨシノなど約30本の桜が駅舎周辺に咲き誇ります。茅葺屋根の駅舎脇にある足湯に入りながら桜をお楽しみください。



⑮柳津町 福満虚空蔵菩薩圓蔵寺周辺の桜

●場所／柳津町大字柳津字寺家町甲176 ●開花時期／4月下旬 ●柳津町役場地域振興課観光商工班／TEL:0241-42-2114
圓蔵寺の正門と柳津駅を結ぶ「まんじゅう坂」はソメイヨシノ約100本が植えられており、桜のトンネルのよう。圓蔵寺に参拝したあとは、只見川をはさんだ対岸にある瑞光寺公園から、寺と桜並木を遠望するのもおすすめです。夜には圓蔵寺がライトアップされ、幻想的な光景となります。

みんな知ってた？

会津の人・物・歴史

ひとものれきし

手作り和菓子

和菓子職人手作りの本物の味わい



最上の皮に包まれた極上の餡が美味。バター風味のカリッとした焼皮に粒あんが包まれた四道將軍も、上品な甘さの餡が魅力。お土産にも最適なので、会津にお越しの際はぜひ味わってみてはいかがでしょうか？

職人が一品一品ていねいに手作りにしています。素材を活かし、添加物なども一切使わないので日持ちはありませんが、本物の菓子の味わいを当店でご堪能ください。



安孫子 淑子さん
吉田菓子舗女将



上生和菓子はもちろん時代ニーズにあわせて洋菓子やパンなども扱う。



吉田菓子舗
会津若松市馬場町1-22 ☎0242-22-0985
営業時間／9:30～19:30 [祝日]10:00～16:00
定休日／日曜日



姫鋏

ひめくわ



ハートが目印の「愛を耕す鋏」

品質の良い鋏を作り続けて90年の堤製作所。戦乱の世、農家の娘を装い農耕をしたという鶴ヶ城の姫の話にあやかり「姫鋏」と名付けられました。その鋏は、軽くて丈夫だと評判で、全国各地から注文が絶えません。地域の気候や土質によって、使われる鋏の長さ・角度・形が全て異なるため、工場では細

やかに対応し、それぞれの特性に合った鋏を制作しています。刃をハートの形にした「ハート鋏」も女性に人気です。ハート形の刃は先端が鋭く土に突き刺さり、少ない力で農作業ができます。使う人と地域のことを考えた、愛情いっぱいの「姫鋏」。ここにも丁寧な会津の技が生きています。



両端の角を厚く、中ほどを薄く加工した刃先は、角が丸くならず、切れ味が何年も続く。



堤製作所 会津若松市馬場町5-1 ☎0242-22-0308
※小売もしています。



土地の特徴に合わせた鋏の種類は100種以上。会津地方だけでも、町によって刃や柄が違ってくるんですよ。匠の技で仕上げた天下一品の鋏を、ぜひ使ってみてくださいね。

堤 秀子さん
堤製作所代表取締役

会津DE体験

噂のマルマルやつてみた。

手びねり体験

at 会津慶山焼

（東山町）



丸い粘土を押し広げ、器の形に延ばしていく。

指先で厚みを調整し、ろくろを回し底を整える。

形が決まったら、口元を弓で切り上げる。

鹿のなめし草で、緑をなめらかにし完成。



手びねり体験料金は、湯呑で1,500円から。（※形、大きさにより異なる。）事前に予約を。



成形後1週間ほど寝かせ、底の粘土を削り落とし、素焼き、釉掛け、本焼きを経て完成（約2ヶ月）。色は砂地（白）・緑・水色から選べる。



「用即美」を大切に使い勝手のよい器を作り続けています。日常に生きる伝統工芸品を、ぜひお使いください。

会津慶山焼 陶工 曲山 輝一さん



会津慶山焼
会津若松市東山町天寧67 ☎0242-26-2507
営業時間／9:00～18:00
体験受付時間／9:00～16:30
e-mail: aizui@keizanyaki.com
http://www.keizanyaki.com



会津の伝統工芸品の一つ「慶山焼」は、蒲生氏郷が職人を呼び鶴ヶ城の屋根瓦を焼かせたのが起源だといわれる、歴史ある焼き物です。その慶山焼の伝統を伝える唯一の窯元「香山」では、昔ながらのろくろと手びねりによる陶芸体験ができます。

今回は、福島市の安齋さんご夫妻が、ビールカップと飯碗作りに初挑戦。陶工の曲山さんの丁寧な指導のもと、ろくろに向かって器を成形していきます。

指先で粘土を延ばしながら、慎重に形を整えていきます。「器の上は耳たぶ位の厚さがベストですよ」などのアドバイスに、お二人とも真剣に作業を進めます。希望の高さ、大きさに



出来た！焼き上がりが楽しみです。

「たつぷりしたい形のカップが出来たねえ」と、ご満悦のご主人。器に残る指の跡が味わい深い、作る人の個性豊かな手びねりの器。世界でたったひとつのオリジナルの器作りをぜひ体験してください。



鶴ヶ城
会津若松市追手町1-1
TEL / 0242-27-4005
営業時間 / 8:30~17:00(入場締切16:30)
年中無休
HP / <http://www.tsurugajo.com/>



保科正之によって作られた「赤瓦」は、現在の会津美里町(旧会津本郷町)で焼かれていました。
しかし、現在は会津美里町で瓦を焼くことが困難のため、現在でも良質な瓦を提供している新潟県安田瓦を使用しています。

会津の冬の厳しさに耐える「赤瓦」 日本唯一の赤瓦天守閣・鶴ヶ城

鶴ヶ城を訪れて「おやつ」と思った人はいませんか？お城好きの人なら一目でわかると思いますが、天守の瓦が珍しい赤瓦なのです。江戸時代には全国で他にもいくつか存在していた「赤瓦の天守」も今はすべて取り壊され、現在ではこの鶴ヶ城が日本唯一の赤瓦の天守となりました。

文禄2年(1593年)、蒲生氏郷によって、この地に初めて天守が築かれた当時は黒い「いぶし瓦」だったと考えられています。しかし、雪が多く気温の低い東北地方では、瓦の中にしみ込んだ水が凍結し、ひび割れが多発したため、その対策に迫られました。
寛永20年(1643年)に会津藩主になった保科正之の時代に本格的な瓦の改良が進

み、赤い瓦が使われるようになったのです。この赤瓦は、鉄分を多く含んだ釉薬で処理され、ある程度しみ割れを防いだと言われています。この鉄釉が塗られた瓦は、焼き上がりが赤茶に近い色となったため「赤瓦」と呼ばれるようになりました。

昭和40年(1965年)の鶴ヶ城再建当時は蒲生氏郷時代のいぶし瓦を模した黒瓦が用いられましたが、その後、城の整備は江戸時代末期の姿に統一して行う方針を定めたため、平成13年(2001年)に復元・公開された南走長屋・干飯櫓の屋根と共に、平成23年(2011年)には天守すべてが赤瓦に生まれ変わり、戊辰戦争当時の姿により近づくことになったのです。

Full Scale Data	全長 / 約330mm×260mm 重量 / 約4kg(赤瓦)
-----------------	---------------------------------

*「会津原寸大図鑑」は会津に関係のあるものをより身近に感じていただけるように、実物大(原寸大)で掲載・紹介するコーナーです。



白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。



藤澤 忠さん
切り絵師・焼き絵師。1968年生まれ、国際交流(ウヘキスタ)美術展入賞、サロ・デ・ボザール公募展特選、知事賞、入賞など受賞歴多数。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

しかし、近年の会津にはその「色」だけではなく「光」や「音」さえ失われているのではないかと思います。昔は城下町と言え、トントン」という桶屋や「トンテンカン」という鍛冶屋の音が通りにこだましていました。道を抜け、古い家を壊す。だんだん城下町の良さがなくなる。観光の方々は、会津に何を求めてくるのか。そこを考えなくてはなりません。特に私はヨーロッパで今も大事に守られた茅葺の集落などを見て強くそう思います。

日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

会津は四季のはっきりした豊かな城下町です。春は花咲く鶴ヶ城。夏はみどりの東山。秋は紅葉の湯の香。冬はスキーの磐梯山。そんな色彩豊かな会津も冬は雪に閉ざされ、モノトーン(白黒)の世界に変貌します。私はそんなノスタルジックでどこか懐かしい日本の原風景のような会津の冬景色や暮らしをテーマにモノトーンにこだわり創作し続けています。モノトーンにこだわる理由は、見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

白から黒に到るまでの色が、そこで生活している人たちの色。私はそれをモノトーンで表現しているわけです。そこに感動が生まれると思います。

見る人の創造性を膨らませるためです。私の持論なのですが「色の出発点は白、終着点が黒」と考えています。

会津の冬景色に日本の良き原風景を感じてほしい。



日仏(パリ展)現代美術展を始め数々の受賞歴を誇る切り絵師であり、焼き絵師でもある藤澤忠さん。会津の風景や暮らしをテーマに創作し、ワールドワイドに活躍する藤澤さんをご紹介します。

リレーでつなぐ

会津人

3rd Runner

湯ったり のんびり 会津の温泉



東山温泉

くつろぎ宿 新滝

同じ温泉街にある姉妹館「千代滝」への湯巡りも人気だロボ!

古くは会津藩主や文人墨客に愛された川沿いに佇む源泉掛け流し自慢の宿。趣の異なる4種のお風呂でのんびり温泉三昧ができます。

郷土料理や地酒などにこだわった会津ならではの文化をお楽しみいただける「くつろぎ宿」です。

会津若松市東山町湯本川向222 ☎0242-26-0001 <http://www.kutsurogijuku.jp>



芦ノ牧温泉

芦ノ牧ホテル

古き良き日本の情緒漂う温泉宿だロボ!

心をこめた、最高のおもてなしを。大川に広がる四季折々の溪谷美。春は新緑、夏は清流、秋は紅葉、冬は雪景色。自然に恵まれたゆとりある空間で、心あたたまるサービスを提供いたします。



福島県会津若松市大戸町大字芦ノ牧796 ☎0242-92-2206 (予約受付時間 8:00~20:00) <http://gsi-ashinomakihotel.jp/>

会津ファンクラブ会員限定

会員証提示にて、表示額より1割引き



「鶴ヶ城公式ガイドブック」 1,200円+(外税)



「会津の人物」シリーズ
vol.1 保科 正之
vol.2 新島 八重
vol.3 大山 捨松
各476円~+(外税)

「やさしい会津の歴史」 800円+(外税)

「会津若松冒険王」 500円(税込み)

販売場所 鶴ヶ城天守閣売店、御薬園、会津町方伝承館

通信販売専用 ※通信販売希望の方は、御薬園にご連絡下さい。申し込みの際は、会員である旨を申し出て下さい。

御薬園 TEL 0242-27-2472

「会津ファンクラブ」新協賛店ご紹介

おトクな会員特典が受けられますので、ぜひ足をお運びください



ばんげや

会津若松市栄町1-38
TEL 0242-32-9112
営業時間/17:00~23:00
(ラストオーダー22:30)
定休日/日曜日

会員特典 会員証提示でグループ全員に「おぼろ豆腐」をプレゼント



道の駅 しもごう

南会津郡下郷町大字南倉沢字木賊844-188
TEL 0241-67-3802
営業時間/4月~11月 8:00~18:00
12月~3月 8:00~17:00
休館日/12月31日、1月1日(2日間)

会員特典 お食事価格から10%割引(2名様まで有効)

会員様プレゼント

「鶴ヶ城公式ガイドブック」を5名の方にプレゼントします。

※会員様のみの受付となりますので、この機会に是非、ご応募ください。

応募方法

ハガキにて①住所②氏名③連絡先(電話またはメールアドレス)④会津ファンについての感想やご要望⑤会津や鶴ヶ城についての思い⑥会員番号をご記入の上、ご応募ください。

※当選は発送をもって代えさせていただきます。

〒965-0873 会津若松市追手町5-10 2F 一般財団法人会津若松観光ビューロー内「会津ファンクラブ」宛 (4/30消印有効)



イベント情報

Event Information



鶴ヶ城公園ライトアップ

■4月11日(金)~5月6日(火) (予定)

場所:鶴ヶ城公園
時間:日没後~21:00
(桜の開花時期が過ぎたら20:30まで)
園会津若松市観光課 TEL 0242-39-1251



鶴ヶ城公園内全体をライトアップします。夜空に浮かび上がる約1,000本の桜の美しさをお楽しみ下さい。

4月10日(木)~5月11日(日)	鶴ヶ城天守閣 特集展示「奉納・御神力」 場所:鶴ヶ城天守閣 時間:8:30~17:00(最終入場16:30) 料金:大人 410円(天守閣入場のみ)/小人150円 園鶴ヶ城 TEL 0242-27-4005
24日(木)	白虎隊慰霊祭 場所:飯盛山 白虎隊士墓前 時間:10:30~12:00 園会津若松市観光課 TEL 0242-39-1251
25日(金)	近藤勇墓前祭 場所:天寧寺墓地 時間:11:00~12:00 園会津若松ライオンズクラブ事務局 TEL 0242-26-2288
4月下旬~5月上旬(GW期間)	観音寺川桜まつり 場所:大山祇神社(猪苗代町川桁地内) 駐車場あり 園猪苗代観光協会 TEL 0242-62-2048

1日(木)	奈と竹之碑 碑前祭 場所:善龍寺 園会津若松市観光課 TEL 0242-39-1251
3日(土)☎	第36回 会津若松市子どもまつり 場所:旧会津陸上競技場・文化センター・その周辺 時間:9:30~14:00 園会津若松市教育委員会総務課あいつっこ育成推進室 TEL 0242-39-1304
6日(火)	ゲレンデ逆走マラソン~山頂がゴール! お花見&猪苗代湖一望レース~ 場所:グランドサンピア猪苗代リゾートスキー場 参加料:あり 園逆走マラソン運営委員会事務局(リステル猪苗代内) TEL 0242-66-4110
11日(日)	第15回 荒城の月音楽祭 場所:會津風雅堂 時間:14:00~16:00(開場13:30) 料金:無料(要整理券) 園會津風雅堂 TEL 0242-27-0900
中旬	要害山山開き 場所:JR只見駅前広場集合 園只見町観光まちづくり協会 TEL 0241-82-5250
5月15日(木)~7月15日(火)	蒲生カタクリまつり 場所:蒲生カタクリ公園(蒲生岳久保登山口) 園只見町観光まちづくり協会 TEL 0241-82-5250
25日(日)(予定)	鶴ヶ城天守閣 特集展示「むかしの会津~教育編~」 場所:鶴ヶ城天守閣 時間:8:30~17:00(最終入場16:30) 料金:大人 410円(天守閣入場のみ)/小人150円 園鶴ヶ城 TEL 0242-27-4005
	磐梯山開き 場所:磐梯山 園猪苗代観光協会 TEL 0242-62-2048

1日(日)	蒲生岳山開き 場所:蒲生集会施設「雪の里」集合 園只見町観光まちづくり協会 TEL 0241-82-5250
	ゲレンデ逆走マラソン~ワールドカップコース最大37*! モーグルアタック&菜の花レース~ 場所:リステルスキーファンタジア 参加料:あり 園逆走マラソン運営委員会事務局(リステル猪苗代内) TEL 0242-66-4110
7日(土)~8日(日)	山の幸 山菜まつり 場所:塩沢観光わらび園・塩沢農村公園 園塩沢区十島区山菜まつり実行委員会(民宿いわぶち) TEL 0241-82-2458
15日(日)	ふるさと会津工人まつり 場所:三島町生活工芸館前のナラ林(大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上) 時間:[7日]9:00~16:00 [8日]9:00~15:00 園三島町生活工芸館 TEL 0241-48-5502
21日(土)~22日(日)(予定)	ひめさゆりの郷オーク2014 場所:南郷スキー場センターハウス前 時間:受付 8:00~/開会式 9:00~/申し込み:事前申し込み(参加料500円) 園南会津町観光物産協会 南郷観光センター TEL 0241-64-5811
22日(日)	ホテル祭り2014 in きたあいづ 場所:会津若松市やすらぎ広場ホテルの森公園 園あいづ商工会北会津 TEL 0242-58-2381
28日(土)	第20回 ひめさゆり祭 場所:高清水自然公園ひめさゆり群生地前 時間:10:00~/園南会津町観光物産協会 南郷観光センター TEL 0241-64-5811
	浅草岳山開き 場所:JR只見駅前広場集合 園只見町観光まちづくり協会 TEL 0241-82-5250
	ゲレンデ逆走マラソン~標高1,500mを駆け巡れ! ゲレンデ逆走高地レース~ 場所:箕輪スキー場 園逆走マラソン運営委員会事務局(リステル猪苗代内) TEL 0242-66-4110